

# 平成29年度 第1四半期報告の概要

平成29年8月9日  
明治安田生命保険相互会社

保険料等  
収入

- グループ保険料は、明治安田生命単体の減収等により、7,164億円と前年同期比7.8%の減少
- 明治安田生命単体は、一時払商品の一部販売休止や予定利率引き下げ等により、6,411億円（前年同期比14.4%減少）と減収になったものの、平準払商品の保険料等収入が前年同期を上回り推移する等、計画どおり進捗

基礎利益

- グループ基礎利益は、明治安田生命単体の増益、スタンコープ社の利益貢献額の増加等により、1,037億円と前年同期比19.4%の増加
- 明治安田生命単体は、前年度下半期に外国公社債の残高を積み増した事等により、利息及び配当金等収入が増加したため、1,017億円と前年同期比15.9%の増加

健全性

- 連結ソルベンシー・マージン比率は、995.9%、明治安田生命単体は、940.4%と引き続き高い健全性を維持

業績  
見通し

- 平成29年度業績見通しは、平成28年度決算報告時から変更なし
- 第三分野商品の拡販や8月から開始した外貨建て保険の販売、スタンコープ社の業績貢献により、グループベース、単体とも「増収増益」の見通し

## 【明治安田生命グループの業績】

### 1. グループ保険料、グループ基礎利益、連結ソルベンシー・マージン比率

○グループ保険料は、明治安田生命単体の減収等により、7,164億円と前年同期比7.8%の減少

○グループ基礎利益は、明治安田生命単体の増益、スタンコープ社の利益貢献額の増加等により、1,037億円と前年同期比19.4%の増加

○連結ソルベンシー・マージン比率は、995.9%と引き続き高い健全性を維持

#### ■ グループ保険料

(単位：億円)

	平成29年度 第1四半期連結累計期間		平成28年度 第1四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ保険料 <sup>(注1)(注2)</sup>	7,164	△7.8%	7,774
うち明治安田生命単体	6,411	△14.4%	7,486
うちスタンコープ社	683	+210.7%	219

#### ■ グループ基礎利益

(単位：億円)

	平成29年度 第1四半期連結累計期間		平成28年度 第1四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ基礎利益 <sup>(注2)(注3)</sup>	1,037	+19.4%	869
うち明治安田生命単体	1,017	+15.9%	877
うちスタンコープ社	33	+266.8%	9

#### ■ 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：%)

	平成29年度 第1四半期連結期間末		平成28年度末
		前年度末差	
連結ソルベンシー・マージン比率	995.9	△3.0 ポイント	998.9
うち明治安田生命単体	940.4	△5.1 ポイント	945.5

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) 平成28年度第1四半期連結累計期間のスタンコープ社については、平成28年3月(株式取得月)の1ヵ月相当額の数値を合算

(注3) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に、連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

## 【明治安田生命単体の業績】

### 2. 保険料等収入、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料

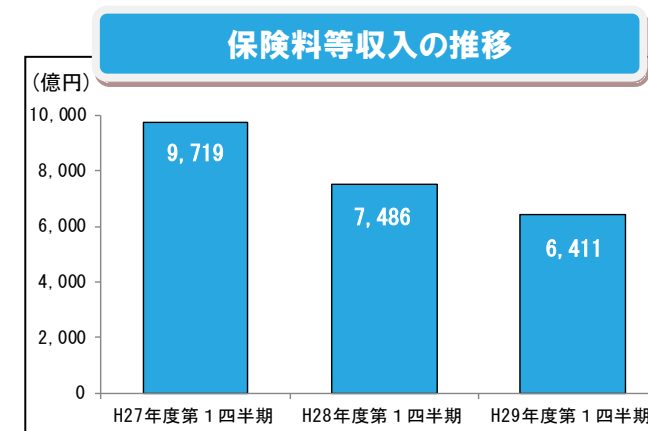
○保険料等収入は、一時払商品の一部販売休止や予定利率引き下げ等により、6,411億円（前年同期比14.4%減少）と減収になったものの、平準払商品の保険料等収入が前年同期を上回り推移する等、計画どおり進捗

○新契約年換算保険料は、上記の要因により、前年同期より減少したものの計画どおりの水準

#### ■ 保険料等収入の状況

（単位：億円）

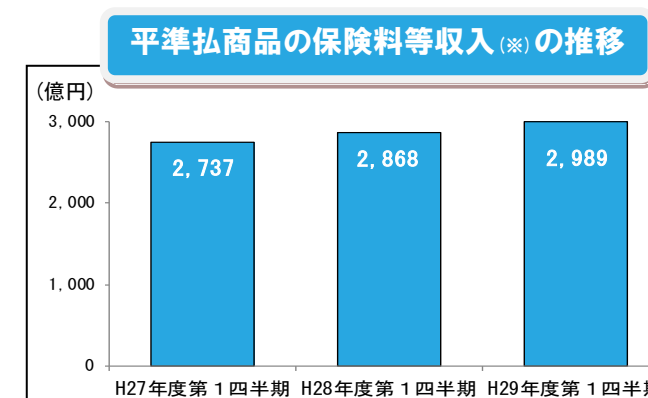
	平成 29 年度第 1 四半期累計期間		平成 28 年度 第 1 四半期累計期間
		前年同期比	
保険料等収入	6,411	△14.4%	7,486
うち個人保険・個人年金保険	3,603	△27.9%	4,997
うち営業職員チャネル	3,049	△12.4%	3,481
うち平準払商品	2,989	+4.2%	2,868
うち銀行窓販チャネル	450	△66.7%	1,352
うち団体保険・団体年金保険	2,713	+13.4%	2,393



#### ■ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	平成 29 年度第 1 四半期累計期間		平成 28 年度 第 1 四半期累計期間
		前年同期比	
新契約年換算保険料	272	△38.5%	442
うち営業職員チャネル	245	△21.7%	313
うち銀行窓販チャネル	22	△81.6%	121
うち第三分野	92	△12.5%	105



#### ■ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	平成 29 年度第 1 四半期会計期間末		平成 28 年度末
		前年度末比	
保有契約年換算保険料	22,449	△0.2%	22,500

(※) うち営業職員チャネル

## 【明治安田生命単体の業績】

### 3. 契約クオリティ(解約・失効・減額率、総合継続率)

○対面によりご契約内容やご請求有無を確認する「定期点検」等を通じた積極的なアフターフォローにより、契約クオリティを示す指標は、引き続き良好に推移

○解約・失効・減額率は、0.91%（前年同期差0.04ポイント改善）

○総合継続率は、13月目・25月目総合継続率ともに高水準を維持

#### ■ 解約・失効・減額率<sup>(注1)</sup>の状況（個人保険・個人年金保険）

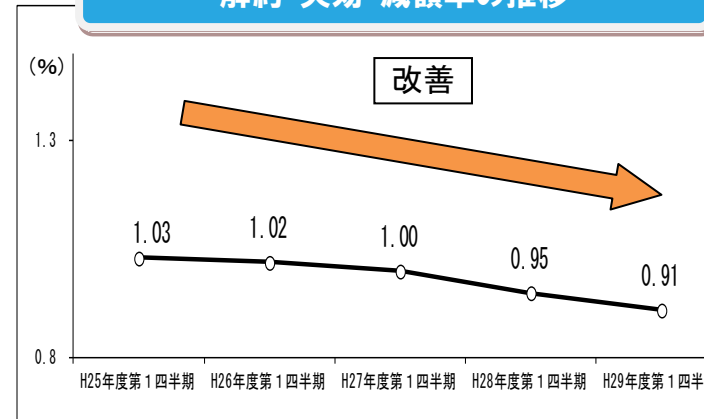
	平成 29 年度 第 1 四半期累計期間	
		前年同期差
解約・失効・減額率	0.91	△0.04 ポイント

(注1) 年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合

(単位：%)

平成 28 年度 第 1 四半期累計 期間
0.95

#### 解約・失効・減額率の推移



#### ■ 総合継続率<sup>(注2)</sup>の状況（個人保険・個人年金保険）

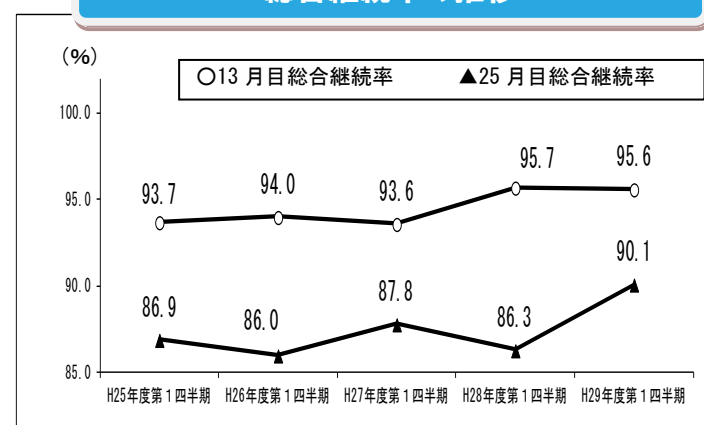
	平成 29 年度 第 1 四半期累計期間	
		前年同期差
13 月目総合継続率	95.6	△0.1 ポイント
25 月目総合継続率	90.1	+3.8 ポイント

(注2) 総合継続率は、契約高ベースにて算出

(単位：%)

平成 28 年度 第 1 四半期累計 期間
95.7
86.3

#### 総合継続率の推移



## 【明治安田生命単体の業績】

### 4. 基礎利益

○基礎利益は、前年度下半期に外国公社債の残高を積み増したこと等により、利息及び配当金等収入が増加したため、1,017億円（前年同期差+139億円）と前年同期比15.9%の増加

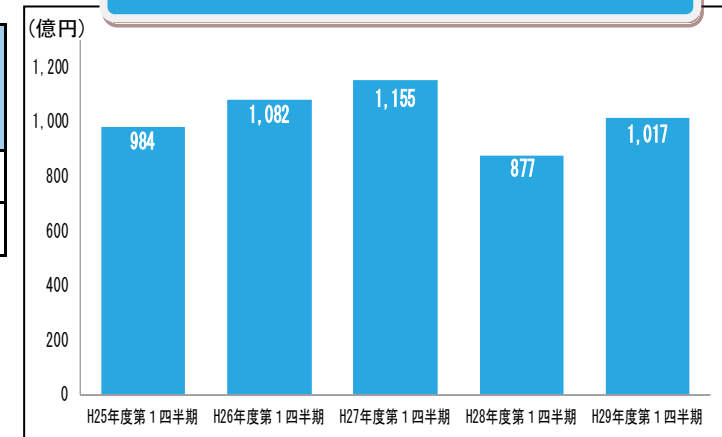
#### ■ 基礎利益等の状況

	平成29年度 第1四半期累計期間	
	前年同期差	
基礎利益	1,017	+139
うち利息及び配当金等収入	1,685	+106

（単位：億円）

平成28年度 第1四半期累計 期間
877
1,579

#### 基礎利益の推移



#### 《ご参考》

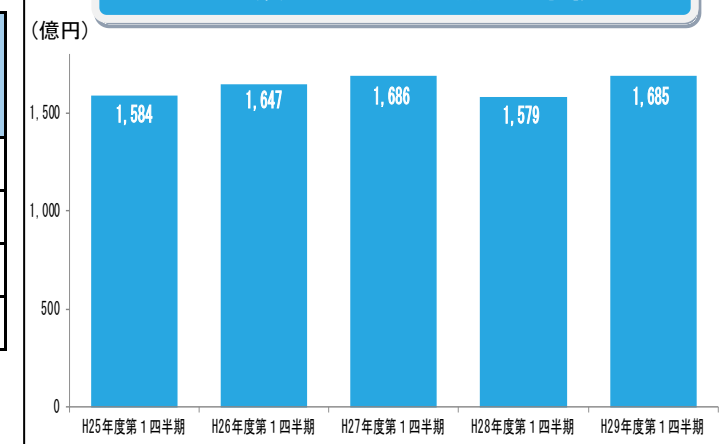
#### ■ キャピタル損益

	平成29年度 第1四半期累計期間	
	前年同期差	
キャピタル損益	△306	+1,067
うち有価証券評価損益	△10	+1,244
うち株式	—	+63
うち外国証券	△10	+1,181

（単位：億円）

平成28年度 第1四半期累計 期間
△1,373
△1,254
△63
△1,191

#### 利息及び配当金等収入の推移



## 【明治安田生命単体の業績】

### 5. ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額、オンバランス自己資本

○ ソルベンシー・マージン比率は、940.4%と引き続き高い健全性を維持

#### ■ ソルベンシー・マージン比率

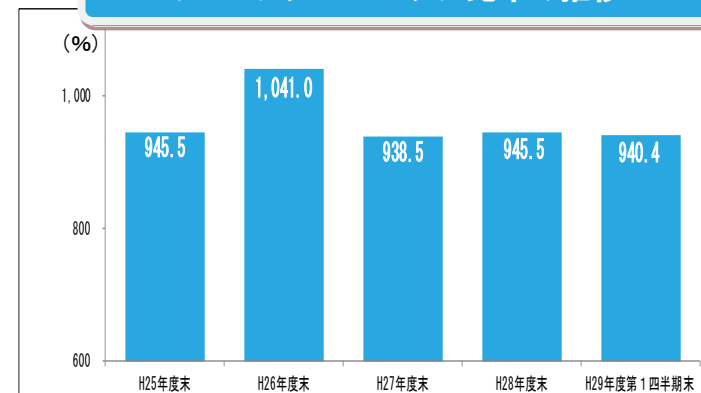
	平成 29 年度 第 1 四半期会計期間末	
		前年度末差
ソルベンシー・マージン比率 <sup>(注1)</sup>	940.4	△5.1 ポイント
ソルベンシー・マージン総額 (A)	74,275	+991
リスクの合計額 (B)	15,796	+294

(注1) ソルベンシー・マージン比率=(A)/(1/2×(B))×100

(単位：億円、%)

平成 28 年度末
945.5
73,284
15,501

#### ソルベンシー・マージン比率の推移



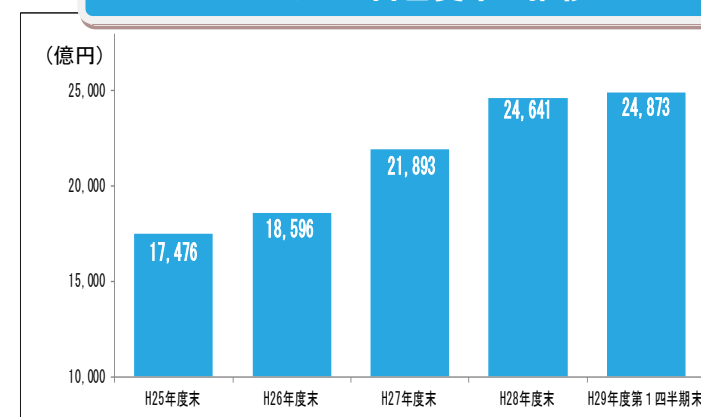
#### ■ 実質純資産額

	平成 29 年度 第 1 四半期会計期間末	
		前年度末差
実質純資産額	95,541	△98
一般勘定資産に対する比率	26.0	+0.0 ポイント

(単位：億円、%)

平成 28 年度末
95,639
26.0

#### オンバランス自己資本の推移



#### ■ オンバランス自己資本

	平成 29 年度 第 1 四半期会計期間末	
		前年度末差
オンバランス自己資本 <sup>(注2)</sup>	24,873	+232

(注2) 所定の内部留保と外部調達資本の合計額

(単位：億円)

平成 28 年度末
24,641

## 【明治安田生命単体の業績】

### 6. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

○一般勘定資産全体の含み損益は、国内外の株価の上昇や米国金利の低下を受け、株式および外国証券の含み益が増加し、6兆1,329億円（前年度末差920億円増加）

○国内株式含み損益ゼロ水準は、8,300円程度

#### ■ 一般勘定資産全体の含み損益

	平成29年度 第1四半期会計期間末		平成28年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	61,329	+920	60,409
うち時価のある有価証券 <sup>(注)</sup>	57,573	+904	56,669
うち公社債	25,714	△162	25,877
うち株式	23,843	+361	23,482
うち外国証券	7,287	+546	6,741

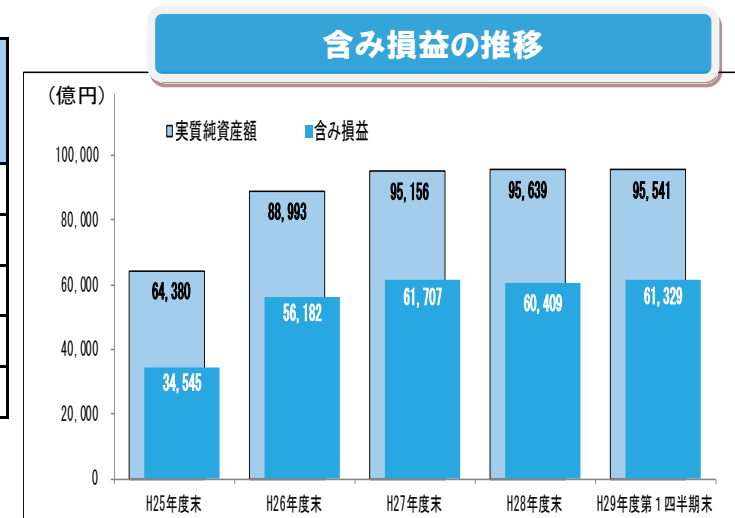
(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

#### ■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合

	平成29年度 第1四半期会計期間末	平成28年度末
日経平均株価ベース	8,300円程度	8,000円程度
TOPIXベース	660ポイント程度	650ポイント程度

(単位：億円)





## 【業績見通し】

### 7. 平成29年度業績見通し

○平成29年度業績見通しは、平成28年度決算報告時から変更なし

○第三分野商品の拡販や8月から開始した外貨建て保険の販売、スタンコープ社の業績貢献により、グループベース、単体とも「増収増益」の見通し

#### ■ グループ保険料の見通し

	平成29年度	前年度比
グループ保険料 <sup>(注1)(注3)</sup>	30,800億円程度	+7.4%程度
うち明治安田生命単体	27,800億円程度	+6.2%程度

平成28年度実績
28,663億円
26,158億円

#### ■ グループ基礎利益の見通し

	平成29年度	前年度比
グループ基礎利益 <sup>(注2)(注3)</sup>	5,100億円程度	+2.7%程度
うち明治安田生命単体	4,800億円程度	+1.6%程度

平成28年度実績
4,962億円
4,723億円

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は明治安田生命の基礎利益に、連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

(注3) 業績見通しにおける想定為替レート：対米ドル110円

#### ■ 企業価値（EEV）の見通し

	平成29年度末
企業価値（EEV）	6%程度増加

平成29年度始
47,132億円